香川県教育センター
教育ライブラリーだより

第1号　令和5年4月28日

いよいよ新学期がスタートしました！　新鮮な気持ちでふだんの学習や活動を振り返ってみませんか？
教育図書や雑誌を読むと、いつもとは違う視点から学校での取り組みを見直すことができます。
教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。
この『教育ライブラリーだより』では、できるだけ新しいものを中心に時折旧刊も交えながら、教育図書や雑誌などの紹介をしたいと思います。
教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。どうぞご利用ください。

書籍紹介

①「絶対役立つ　教育相談　～学校現場の今に向き合う～」

藤田哲也／監修　　水野治久・本田真大・串崎真志／編著
（ミネルヴァ書房　2020 年 11 月 30 日発行）

依然、学校現場が直面している不登校やいじめ、学級崩壊などの様々な課題に、教師としての「指導」ではなく、教師だからこそできる「援助」を通して対応する、教育相談の理論に裏付けされた実践例が紹介されています。組織としての対応が必要とされる今、担任や教育相談担当の先生方にはもちろんのこと、管理職の方々にとっても非常に実践的で参考になる一冊です。

②「自走する集団作り　導く力」

高松商業野球部監督　長尾健司／著
（竹書房　2022 年 9 月 25 日発行）

著者である長尾健司氏は、本書の中で次のように述べています。
「高校野球の監督というと、ピラミッド組織の頂点に立ち、トップダウンで厳しい言葉をかけ続けているイメージがあるかもしれないが、私の立ち位置はまったく違う。選手とはフラットな関係で、笑顔で会話することもあれば、自らバッティングピッチャーを務め、選手とともに汗を流すこともある。」
自走する集団作りを追い求めてきた長尾監督が、少しでも多くの人に「こんな指導方法もあるのか」「現場の指導に生かしてみたい」と思ってもらいたいと考えまとめあげた著書です。

③「個別最適な学びと協働的な学び」

奈須正裕／著
（東洋館出版社　2022 年 3 月 25 日発行）

『令和の日本型学校教育』の中心概念として「個別最適な学び」と「協働的な学び」がよく話題になりますが、具体的にどのような取り組みが考えられるのか、そもそもこの二つは両立するのか、悩ましいところではないでしょうか。本書では、山形県天童市立天童中部小学校での取り組みをもとに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実がどのようにして可能となるのか、豊富な具体例とともに考察されています。同小学校における「自学・自習」「マイプラン学習」「フリースタイルプロジェクト」等を通して、子どもたちが自主的に学びを深めていく様子を知るとともに、「学ぶ」ということの意味についても考えさせられます。インターネット等の発達で知識の獲得がきわめて容易となった今、「学び」の目指すものは何なのか。それは一斉学習を基本とし

てきた日本の教育の在り方を問い直すことでもあります。教師による情報の伝達から子どもによる意味の創出へ。「子どもは学ぼうとしているし、学ぶ力をもっている」ことを信じて、その力をいかに発揮させるかが重要であると、豊富な具体例とともに語られています。新学習指導要領の目指すところを具体的に深く考えることができる良書です。

④「授業づくりの深め方　～「よい授業」をデザインするための５つのツボ ～」

石井英真／著

（ミネルヴァ書房　2022 年 8 月 10 日発行）

目の前の子どもの事実に即応して、個々の技術や手法をアレンジして使いこなしたり、授業を組み立てたりする上での原理・原則（「授業づくりのツボ（発想）」）をまとめたものです。日本の教育現場が蓄積してきた良質な教育文化を継承しつつ、新しい時代の教育文化を自分たちで作っていくための、教師修行と自己研鑽のための手引書。若い先生方向けであるとともに、大学の研究者や教育センターの指導主事、学校の管理職や研究主任が、現職の教師を指導したり教師の学び合いの場をデザインしたりする際の指南書でもあります。

教育ライブラリーの蔵書については、https://tosho.kec.kagawa-edu.jp/（香川県情報教育支援サービス）で検索、貸出が可能です。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	４月号	「授業開き」最強ナビ/基本からこだわりまで 巻頭鼎談/国語授業開きで大切にしたいこと 国語授業開きの基本の〝き”Q&A 今年はココにこだわりたい！４月に押さえたい厳選指導 国語教師のための「テクスト論」超入門 スキマ時間に使えるミニ活動アイデア
社会科教育 (明治図書)	４月号	１００万人が受けたい！社会科授業開きアイデア １００万人が受けたい！河原流社会科授業開き １年間の授業へのモチベーションがあがる！導入ｹﾞｰﾑ&ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨ ICT 活用＆個別最適で再構築！社会科授業アップデート
新しい算数研究 (東洋館出版社)	４月号	数学的な見方・考え方を働かせた学びを創る
数学教育 (明治図書)	４月号	２０２３年の時事ネタから１人１台端末活用まで 授業開き教材コレクション 時事ネタ　数・計算ゲーム　図形パズル　おもしろ難問　ペアで対戦他 新しい世界の扉を開く　高校数学の授業開き/各学年とっておきのプラン
理科の教育 (東洋館出版社)	４月号	改訂された学習指導要領における全国学力・学習状況調査と今後
英語教育 (大修館書店)	４月号	わたしの「授業準備ルーティン」大公開 そろそろ変えませんか？英語の〇〇〇 チーム中学高校英語/サステナブルな授業磨き 英語授業×デジタルで、したいこと、できること

道徳教育 (明治図書)	4月号	「考え、議論する道徳」をスタート！　こだわりの授業開き２０２３ 巻頭インタビュー/「考え、議論する道徳」の課題と展望　浅見哲也 ７つこだわりポイントにズームアップ！ 発問　板書　ノート＆ワークシート　役割演技＆エンカウンター 問題解決的な展開　１人１台端末 教科書会社別/１時間目教材で使える導入ネタ集
授業力＆学級経営力 (明治図書)	4月号	理想のクラスへ最高のスタートを！学級開き２０２３ 理想のクラスづくり、まずはここから 学級開きアクティビティ　学級システム GIGA トラブル予防＆対応術　授業開きアイデア 巻頭カラー/アイデア満載！２０２３年の教室開き マンガ/赤坂真二先生に聞く！子どもが安心できる学級のはじめ方
生徒指導 (学事出版)	4月号	「新・生徒指導時代」の幕開けへ 生徒を信じるということ 子どもの権利の尊重と生徒指導 時代を映す新たな課題への対応～子どもの声を対応の道標に～ 巻頭インタビュー　川上康則 先生を追い込む呪縛と教室マルトリートメント
教職研修 (教育開発研究所)	4月号	2023 年度、学校教育の重要課題 伯井美徳（文部科学審議官） 「信頼」される校長になる！ 「また明日」と言いたくなる学校をつくる/写真 de 学校探訪
初等教育資料 (東洋館出版社)	4月号	資質・能力の育成に向けた授業づくり１ 小学校外国語教育における「読むこと」「書くこと」の指導の在り方 教育の扉/今この場で生まれる音楽を一緒に楽しむ 上原ひろみ
中等教育資料 (学事出版)	4月号	道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の推進 教育小景/荻野目洋子　　新コーナー/StuDX Style への扉 注目/魅力ある先生
学校教育相談 (ほんの森出版)	4月号	新年度、心理的安定性の高い学級をつくるために 担任の面談をサポートする配布資料
実践みんなの特別支援教育 (Gakken)	4月号	新年度を「できた！」でスタート 読み書き障害の特性に合わせた教材＆指導 １活動１０分でできる「自立活動」 季節や行事を楽しむ「イラスト教材」
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	4月号	新年度の子ども理解と授業づくりのアップデート 授業づくりベーシック～実態把握から評価計画（プランづくり）まで やりがいと手応えのある学校生活を生み出す「できる状況づくり」 ユニバーサルデザインの視点を活かす！ 通級指導担当者からの発信/自立活動　ホップ・ステップ・ジャンプ！ ICT で変えよう！特別支援学級の授業づくり！
特別支援教育 (東洋館出版社)	冬号	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の取組 巻頭言/アートはコミュニケーション 連載講座/我が校のカリキュラム・マネジメント 子どもを支えるネットワーク　卒業生は今　研究最新情報

学校図書館　　3月号 (全国学校図書館 推進協議会)	今、子どもの読書を考える
4月号 高校教育 (学事出版)	魅力ある高校をつくる！ 「高校の魅力」とは何なのか 元祖「魅力化」のこれまでとこれから 小規模校・専門高校そして進学校、それぞれの「魅力」とは 「ないもの」で魅力を創る
高校教育　　4月増 (学事出版)　　刊号	教師の話し方例話講座 校長の発信力が学校の未来を決める―SNS時代の情報発信術
2月号 道徳と特別活動 (文溪堂)	チーム学校で取り組む計画づくりとその運用 ―カリキュラム・マネジメントを意識して あたたかな心と豊かな人間関係をはぐくむ　道徳・特別活動
指導と評価　　4月号 (日本教育評価研 究会)	実りある校内研修 グループアプローチを教育に生かす 「叱る」を考える―「『ほめる』と『叱る』」再考 いま必要な校内研修―保護者との連携 「あきらめる」を肯定的にとらえる
12号 教育ジャーナル (Gakken)	がんばれ公立校/校長アンケート コロナ禍での学校経営 なぜ、今、高等学校では「探究」なのか(田村学教授インタビュー) 公立中学校の休日運動部活動―地域に移行する構想を検討